

プログラム

12月21日(月)

- 13:00～13:40 船守美穂(国立情報学研究所)
世界のオープンサイエンスの動向—クラウド上への研究活動の移行
- 13:40～14:10 吉見一慶(東京大学)
計算物質科学でのデータ利活用に向けて—物性研究所データリポジトリ運用に向けた取り組みの紹介
- 14:30～14:50 野村悠祐(理化学研究所)
機械学習を用いた2次元J1-J2ハイゼンベルグ模型の研究
- 14:50～15:10 大槻純也(岡山大学)
動的平均場理論による非局所相関の計算とGPU化
- 15:10～15:30 松本正和(岡山大学)
水素無秩序氷に隠された秩序
- 15:30～15:50 中村壮伸(産業技術総合研究所)
物理的に妥当な自由エネルギー地形の定義
- 15:50～16:50 ショートトーク(一人2分)
- 16:50～17:50 ポスター発表

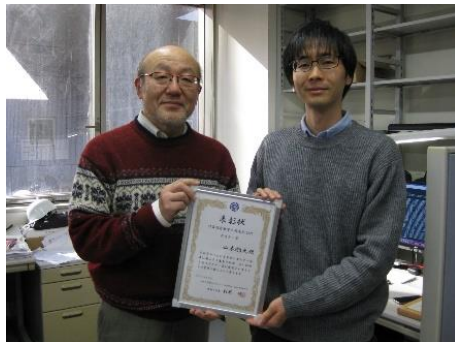
- P1 松本宗久(高エネルギー加速器研究機構) 材料開発における計測・設計データ統合とデータ空間の多峰性に対するアプローチ
- P2 Tu Wei-Lin(東京大学物性研究所) 自動微分を応用するテンソルネットワーク法
- P3 春山潤(東京大学物性研究所) 古典密度汎関数理論を用いたLennard-Jones液体・剛体球系の分布関数計算
- P4 浅野優太(東京大学物性研究所) 音波の分子動力学シミュレーション
- P5 爲本尚樹(東京大学物性研究所) 膜変形とカップリングした反応拡散系によるパターン形成
- P6 小野頌太(岐阜大学) ボルツマン方程式ソルバーの開発とフェムト秒金属発光ダイナミクスへの応用
- P7 佐藤龍平(東京大学) Li(CB9H10)のLi伝導機構に関する分子動力学計算
- P8 山本剛史(東京大学物性研究所) ピン止め効果のある1次元ジョセフソン接合列における弾性散乱
- P9 鈴木隆史(兵庫県立大学) 蜂の巣格子Heisenberg- Γ 模型の基底状態
- P10 濱田智之(物質・材料研究機構) 遠赤外・THz域におけるグラフェン吸光度の第一原理計算
- P11 中西亮(東京大学) 磁場掃引中のGinzburg-Landauモデル上に現れる二次元磁気パターンの時間発展
- P12 吉山幸太(東京大学) 高次テンソルくりこみ群による2次元正方格子Edwards-Anderson模型の研究
- P13 横田猛(東京大学物性研究所) 汎関数繰り込み群に基づいた密度汎関数理論による電子系の相関エネルギー密度汎関数の構築
- P14 城塚達也(茨城大学) 拘束密度汎関数理論によるプロトン移動の分子動力学シミュレーション
- P15 樋口祐次(東京大学物性研究所) 全原子分子動力学法とDFTB分子動力学法によるリン脂質二重膜上の負の水和
- P16 品岡寛(埼玉大学) Solving the Bethe-Salpeter equation with exponential convergence Iv
- P17 森田悟史(東京大学物性研究所) 角転送行列を用いたテンソルくりこみ群
- P18 明石遼介(東京大学) Chemical Physics of Superconductivity in Layered Yttrium Carbide Halides From First Principles
- P19 井戸康太(東京大学物性研究所) 物質科学シミュレーションのポータルサイトMateriAppsの紹介
- P20 小田竜樹(金沢大学) Analysis on Magnetic Anisotropy Energy in the Material for Spintronics Applications
- P21 日詰湧真(東京大学) 遷移金属V, Nbの超伝導におけるスピン揺らぎ効果の第一原理計算



ポスター賞



Tu Wei-Lin (東京大学)



山本 剛史 (東京大学)



城塚 達也 (茨城大学)

